

令和5年度 事業報告

共同生活援助事業所 さんさん

さんさんは令和3年10月より宿泊型自立訓練事業から共同生活援助事業（グループホーム）に事業転換し、運営を行ってきました。令和4年度は春に利用者が体調不調などにより入院した方が多くおり、収支はかなり厳しい結果となりました。ただ、事業転換により、ゆったりと生活できる環境になり、入居者の多くは穏やかに生活を送る事が出来ています。

●利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
平均利用数	16.2	13.3	13.4	15.3	16.0	16.2

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均利用数	16.7	16.3	14.9	16.7	17.3	19.5	16.0

●営業

- ・利用者の確保に向けて、県内の精神科病院・特定相談事業所・あいなどへ営業を行いました。

●日中プログラム

- ・多くの利用者は昼間、すずわやデイケアをはじめとした日中活動に参加し、その人らしい生活を送っています。体調不調等で休まれる場合は話を聞かたせもたっさりしながら落ち着いて生活が送れるように支援しています。

●諸会議

- ・運営会議 月2回 火曜日 10時～12時
- ・ケース会議 月1回 第3金曜日 14時30分～16時00分 野村顧問を招いて実施
- ・その他 業務会議／入退所判定会議／個別支援会議等を必要に応じて実施

●職員研修(主に法人内の必須研修)

- ・虐待防止研修 令和5年9月21日(木) 虐待防止マニュアルの読み合せ／事例検討
- ・パワハラ研修 令和5年11月30日(金) 講師：日吉英明社会保険労務士
- ・加算研修 令和6年3月14日(木) 講師：北由美氏(三重県地域生活定着支援センター)

●その他

令和6年度に向けて、特に隣接する鈴鹿厚生病院との連携を図るべく、月1回のペースで「地域連携委員会」を開催し入居者の確保に努めました。